

少子化に関する県民意識調査について

1 調査の目的

本県における子育ての現状や少子化対策に関する県民の意識やニーズ等を把握するための調査を行い、本県の特徴を把握するとともに、次期「はぐみんプラン」策定のための基礎資料とする。

2 調査時期

令和5年10月（予定）

3 調査の概要

「あいち はぐみんプラン 2020-2024」策定時に実施した「少子化に関する県民意識調査」を踏襲して、以下の調査地域、調査対象、標本数、調査方法によって行う。

	内容
1 調査地域	愛知県内全域
2 調査対象	愛知県内に居住する満20歳から49歳の男女
3 標本数	3,000人
4 抽出方法	住民基本台帳等に基づく無作為抽出法
5 調査方法	郵送及びオンラインの併用（郵送により調査票を送付し、回答は郵送又はオンラインにより行う。）
6 調査項目	結婚や子どもを持つことに対する意識、子育てに関する現状認識等少子化に関する意識を問う設問（45項目程度を予定）
7 実施方法	調査専門業者 ^{※1} に下記の内容を委託する。 【委託の内容】 調査票 ^{※2} の調整、作成、印刷、データ入力・集計・分析 報告書の作成等 ※1 調査専門業者は、一般競争入札により選定 ※2 調査票の設問項目は、子ども・子育て会議に諮った上で決定

4 スケジュール（予定）

- 8月 標本（調査対象者）の抽出
- 9月 子ども・子育て会議で調査項目案検討
- 9～10月 調査票発送準備
- 10～11月 調査実施
- 12～1月 集計（単純集計・クロス集計）、調査結果報告書作成
- 2月又は
3月 子ども・子育て会議に結果報告書提出

5 調査項目設定の考え方

「あいち はぐみんプラン 2020-2024」策定時に実施した「少子化に関する県民意識調査」（平成30年10月調査実施）との経年比較を実施するため、同調査の調査項目を基本とし、最近の情勢や新たな子育て支援事業のニーズを把握するための設問や回答選択肢の追加を行う。

番号	調査項目
少子化に関する意識	
1	少子化への危機感
2	少子化が与える影響
3	「安心して子どもを生み育てることができる社会」のための施策
4	理想子ども数と予定子ども数
5	予定子ども数が理想子ども数を下回る理由
6	仕事を辞めた経験
7	就業状態及び再就職の意思
8	女性が子育てしながら働く上での問題点
子どもがいる人の子育てに関する意識	
9	子どもと過ごす時間
10	子育ての良い点
11	子育ての負担な点
12	子育てへの関わり状況
13	子育てへの関わりが不十分な理由
14	子どもが生まれてからの時間の使い方
15	男性の育児への参加状況
16	<u>子育てに利用しなかった（してみたい）制度</u>
17	<u>病児・病後児保育の利用状況【新規】</u>
18	職場での育児関連制度の利用状況
19	育休を取得しなかった理由
20	子どもを通じたご近所づきあい
21	子育ての喜び
独身者の結婚に関する意識	
22	<u>結婚の意志</u>
23	結婚の利点
24	<u>独身にとどまっている理由</u>
25	<u>結婚とは別の制度の利用ニーズ【新規】</u>
ワークライフバランスに関する意識	
26	ワークライフバランスの状況
27	仕事への意欲
28	子育てしやすい職場環境
29	子育てしにくい原因
期待する少子化対策	
30	<u>結婚を支援する施策</u>
31	安心して妊娠・出産ができる環境を整備する施策
32	<u>育児を支援する施策</u>
33	<u>地域社会における住民同士の助け合い</u>
34	はぐみんの認知度、はぐみんデーの認知度
回答者の属性	
35～43	<u>性別・年齢等</u>

※下線部が前回調査から変更・追加したもの。その他、文言の適正化のための修正あり。